

Q. 歯医者での X 線写真（レントゲン撮影）は安全なの？

A. 人は日常生活の中でも自然に放射線を浴びています。

放射線の理論上では放射線の影響で体に影響が全くないとは言いきれませんが、線量の少ない歯科用 X 線写真は正しく使用すれば危険ではありません。

★検査を受けず病気の原因が分からないまま適切な治療が出来ない事の方が現代では危険といわれています。

X 線検査では目には見えない様々な情報を得ることが出来るため、歯科治療において、治療前の診断・治療中・最終的な確認などでのレントゲンは欠かせないものとなっています。

～放射線量の目安～ 放射線量はミリシーベルト（mSv）という単位を用います。

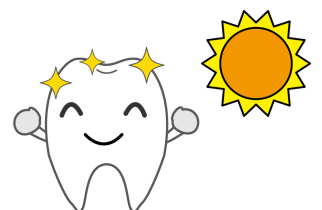
歯科用デジタル(部分的)レントゲン撮影 1 回	0.01 mSv
口腔全体が写るパノラマレントゲン撮影 1 回	0.03 mSv
胸部レントゲン撮影 1 回	0.05 mSv
胃のレントゲン撮影 1 回	0.6 mSv
飛行機で東京～ニューヨーク間を往復した場合	0.2 mSv
日本人が自然界から 1 年間で浴びる放射線量	1.5 mSv
ブラジルに住む人が、1 年間に自然界から受ける放射線量	10 mSv
胎児に影響があるといわれている 1 年間の放射線量	100 mSv
人がガンや白血病になるといわれている 1 年間の放射線量	1000 mSv

★H27.1～12 月の 1 年間、X 線撮影に関わることの多い歯科医師・歯科衛生士の毎月の放射線量の検査を実施しました。

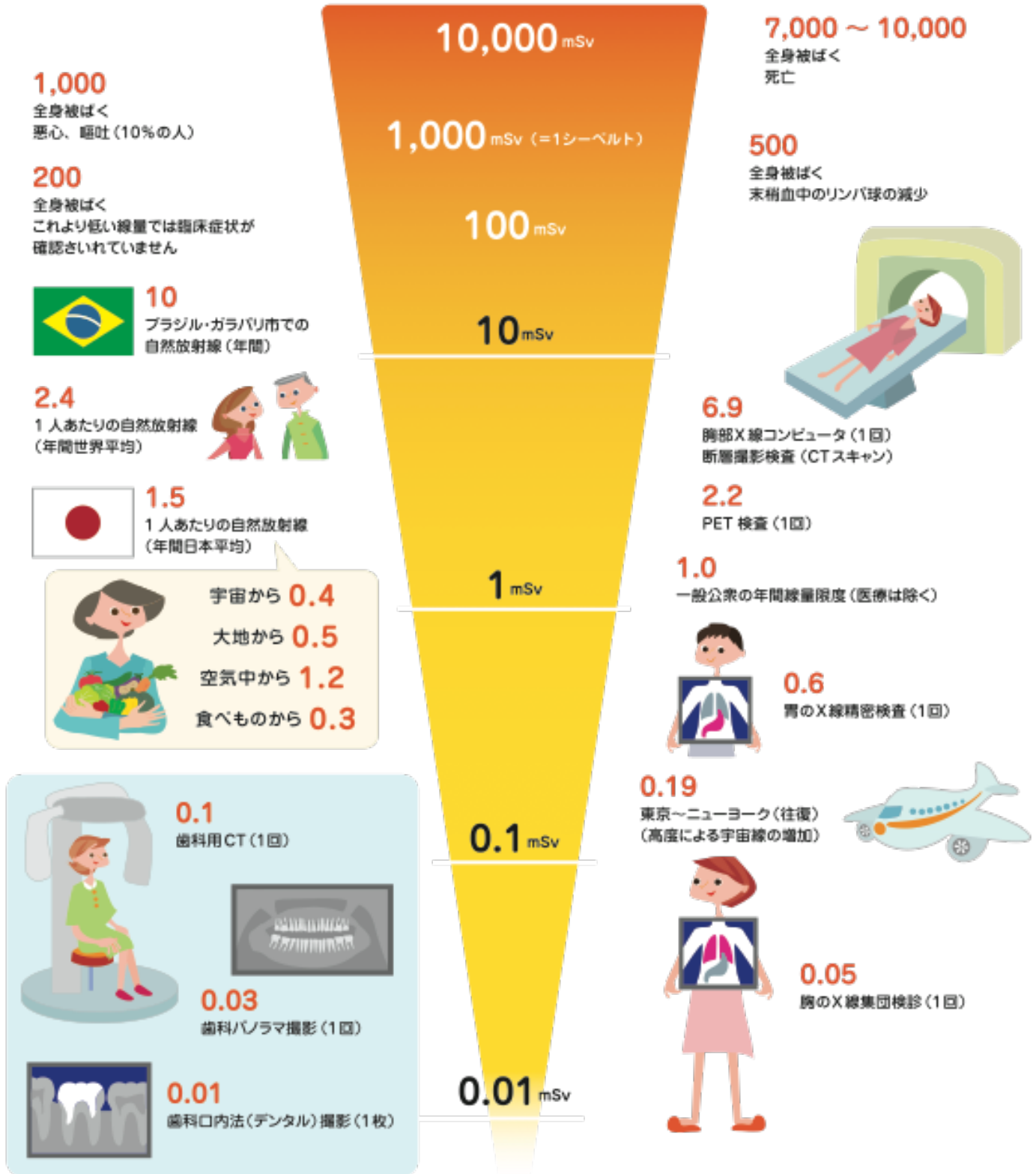
<結果> 歯科医師=12 ヶ月中、0.1mSv の検出が 2 回あったものの、年間トータルの結果としては 0.0mSv と、体内に蓄積されないという事が分かりました。
衛生士=12 ヶ月すべて 0.0mSv といった結果となりました。
この検査を行う事で、歯科での X 線写真の安全性を改めて感じました。

目に見えない所の情報が見られる X 線写真。

正しく活用し、治療を行うことが大切といえるでしょう！



放射線の量 (単位: mSv ミリシーベルト)



飲食物からの放射線 (ヨウ素 131 の場合)



出典: 放射線医学総合研究所調べ等による

© JMNC

*Bq (ベクレル) = 放射性物質から1秒間に出る放射線の数を表す単位
*mSv (ミリシーベルト) = 放射線によってどれだけ影響があるかを表す単位